

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0172000283), 法人名 (株式会社道央ケアセンター), 事業所名 (グループホームつつじ(ユニット1)), 所在地 (小樽市朝里川温泉2丁目694番13号), 自己評価作成日 (令和3年6月29日), 評価結果市町村受理日 (令和3年9月3日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、自然豊かな環境に恵まれており、窓から見える四季折々の自然の変化を慈しみながら、暖かい季節にはホーム周辺の草花を眺めながら散歩をしたり、敷地内の中庭でお茶やランチを楽しむ事が出来ます。中庭ではガーデニングと家庭菜園を行っており、ご利用者様と一緒に花や野菜を育て、一緒に収穫し、食材としていただいています。外出を自粛している分、ホーム内で出来るレクリエーションに力を入れ、家庭的な雰囲気の中でご利用者様が安心して自立生活を送れるように、職員も一緒にステップアップできるように日々努めています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou\_detail\_022\_kani=true&JigvosvoCd=0172000366-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和3年7月12日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

Empty table for external evaluation comments.

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 contain evaluation data for various service aspects.

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「地域に密着した私達の理念を」作り、社内研修計画にも取り入れ、事業所内に掲示しています。コロナ禍で実践としては、行なっていません。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で外部との交流は行なっていません		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議でホームで生活する利用者様の様子などを話し合い、議事録でご家族様全員にお知らせしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に定期開催していますが、新型コロナウイルス感染予防の観点から外部の方の参加を見合わせています。管理者と利用者様、職員でホームでの生活や事故報告、非常災害対策について意見交換をしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	勉強会や研修は新型コロナウイルス感染防止の為、中止しています。日頃から困った事があった時は、介護保険課などに相談し確認しています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止推進委員会は、以前より3ヶ月に1度の定期開催をしています。身体拘束の禁止対象となる11項目の具体的な行為や事例について検討し社内研修で学ぶ機会を持ち、身体拘束をしないケアに努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に行なう身体拘束廃止推進委員会や社内研修で虐待について取り上げ、職員全体で学ぶ機会を作り、虐待が見過される事がないように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	高齢者の権利擁護や日常生活支援事業、成年後見制度は定期的に社内研修に取り上げ、職員全体が学び知識を共有できるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項説明書の読み合わせを行い、不明な点があれば十分に話し合い、利用者様とご家族様のご理解と納得を得るようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には気軽に何でも相談出来るような雰囲気作りをするように心がけています。意見や要望があった時には、対応策を検討し今後のサービスに繋げていけるようにしています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア会議や申し送り以外にも普段から意見交換や提案をし、職員全員で議論し具体的なサービスの向上に活かしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の勤務状況を把握し、各自がやりがいを持って働けるように柔軟に対応しより良い環境作りに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全体が参加できる社内研修を実施しレポートを回覧して内容を共有しています。社外研修は新型コロナウイルス感染予防対策の為、今年度は参加していません。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム協議会に参加していますが、新型コロナウイルス感染予防対策の為、相互訪問研修は中止となっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に、ご自宅訪問とホームの見学をしていただき、ご家族様とご本人様から事前にご希望や問題点を伺っています。入所後も安心して生活できるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始前に、ご家族様とお話をする機会を作り、要望や意見、問題点を伺い解決する事で信頼関係を築いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様とご家族様から現在の状況を伺い、適切な支援が受けられるように対応しています。他のサービスの利用も提案し、ご希望が合えば、他のサービスも紹介しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様の得意なことに取り組んでいただき、コミュニケーションを取りながら自身の回復や心のケアを目標に、ご利用者様と共に楽しく生活できるように努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍で、外泊や外出を自粛している中、ご家族様には、定期的に電話でお話をさせていただいたり、規制をしての面会をお願いしています。ご家族様と一緒に、ご利用者様との関係を考え、支えていけるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出などは自粛していますが、知人の方が面会に来た際には、玄関などで距離をとって合っていたるように、配慮しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様の性格や相性を理解し、気の合った仲間作りのお手伝いをしています。食事の時間や寛ぎの時間など場面に合わせて、お互いに支え合う関係が築けるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もこれまで築いてきた関係を大切にし、ご家族様には、いつでも相談に応じることを伝えています。又、個人情報の保護もお約束しています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様との関わりの中で、思いや希望を親身になって伺うように努めています。それが難しい方の場合は、表情や行動を観察したり、インフォメーションや生活歴などを参考にし、本人本位に近づけるようにしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前にご本人様やご家族様から生い立ちや生活歴を伺っています。これまでのサービス利用関係機関から情報をいただき、今後のサービス提供に活用しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者様一人ひとりの生活リズムを把握し、出来ること、出来ない事を見つけるように努めています。又、それを記録に残し職員間で情報を共有しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様とご家族様の意向を踏まえ、現状を把握し担当者会議で職員と話し合い、介護計画を作成しています。定期的にモニタリングを行い、介護計画の変更を行なっています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録には、ご利用者様の日常の様子や具体的な言葉を個々に記録しています。何か変化があった時には、職員間で情報を共有し、ご家族様にも報告しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様が希望される病院がある場合は同行しています。急な体調不良による臨時受診にも対応できるように職員間の連携も工夫しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルス感染予防対策の為、地域との交流は行なっていません。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療期間や掛かりつけ医で症状にあった専門医に通います。ご家族様と相談、協力しながら適切な医療を受けられるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常生活の中で健康管理を行い、異常の早期発見を心掛けています。体調に変化があった場合は、掛かりつけの病院看護師に相談し助言をいただいています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にご利用者の状態について医療機関に情報提供しています。入院中はご家族様や病院関係者と連絡を取り、現状を把握できるようにしています。速やかな退院を目指し、ホームでの受け入れ態勢を整えます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいます。	入所の際に重度化や終末期について説明をしています。状態の悪化が予測される場合はご本人様、ご家族様、主治医と十分に話し合い今後の方針を決めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故、応急手当、緊急時の対応については、定期的に社内研修を行い必要時に適切な処置ができるように努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、消防計画に基づき夜間想定を含め敷地内のグループホームと合同で避難訓練を実施しています。その都度、消防署の方に評価と防災についてのアドバイスをいただいています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	社内研修で接遇について行い、言葉掛けの大切さを学んでいます。一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない対応を心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の思いや希望を聞いたり状態や表情の変化を観察し、自己決定ができるように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の希望に沿って一人ひとりのペースに合わせた生活が送れるように支援しています。散歩などの希望があれば一緒に出掛けます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご利用者の希望を聞きながら、季節に合った洋服を着られるように支援しています。爪切りや髭剃りの声掛けを行い、困難な場合はお手伝いします。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりに合った食事量や形体の工夫をしています。ご利用者様と職員と一緒に食事をいただき、出来る方には配膳や下膳、食器洗いなどをお願いしています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事量や水分量を記録しています。不足している場合には、ご本人様の摂取しやすい好みの物や形にして召し上がっていただけるように工夫しています。ご自身で摂取出来ない方には食事介助を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、義歯を外しての歯磨きを行っていただいています。ご自分で出来ない方は、職員が介助しています。夜間には、義歯洗浄剤で毎日、消毒しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を基本としています。介助が必要な方も、排泄のパターンや仕草などを把握して、トイレのご案内し排泄の支援を行なっています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の記録を出来る限り記録して便秘にならないように、乳製品の提供や軽い運動、腹部マッサージを行い自然な排便を促がしています。便秘の場合は、主治医に相談し整腸剤や下剤を処方していただく事もあります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回以上の入浴が出来るようにしています。入浴中は会話をしたり、歌をうたったり、楽しい時間になるように心掛けています。ご本人様が入りたくない日は時間や日にちを調整して、気持ちよく入浴出来るように支援しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活リズムに合わせて、日中の活動の支援をしています。温度調節や湿度にも気を配り、気持ちよく睡眠出来るように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方時の医師の説明や薬の説明書をもとに用法、副作用の把握をしています。服用時は日時、名前の確認を複数の職員で行ない、飲み込みまで確認しています。服用後は飲み残しがないか空き袋の確認を行なっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様の出来る簡単な掃除や食器拭き、縫い物などの家事に参加していただいたり、趣味や楽しみごとが出来るように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候に恵まれれば、近隣や敷地内の散歩を日常的に行い気分転換をしています。中庭でのランチやおやつも楽しみのひとつです。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者様は原則お金の管理は行なっていませんが、どうしても所持が必要な場合は、ご家族様と相談し小額の現金を所持しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	フロアに設置してある電話を使用しご家族様やお知り合いの方とお話しをいただいています。郵便物や宅配はご本人様にお渡ししています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある飾りつけをしてご利用者様にリラックスしていただけるように工夫しています。毎日、掃除と消毒をし清潔にしています。加湿器を使用し湿度や温度にも気を配り、快適に過ごせるようにしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアのソファでゆっくりしたり、テレビを見たり談話をしたり自由に過ごされています。ご利用者様のほとんどが、ご自分の居場所が決まっているようで、同じ場所に座られています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、ご自宅で使い慣れた物を持ち込んでいただき、安心して過ごせるようにしています。居室の掃除は職員もお手伝いしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室には名札、トイレや洗面所にも大きな文字で立体のプレートを付け自由に移動できるように工夫しています。		